

クンドルニュース



Kyushu United Nations Depository Library

九州国連寄託図書館

今年もよろしくお祈りします！

高校生対象

テーマ:「私たちの未来を“デザイン”する

～国連が目指す世界とデザイン～

イベントを開催しました！

日時:令和3年12月12日(日) 13時～16時

会場:福岡市総合図書館 第1会議室(3階) またはオンライン参加

主催:日本国際連合協会福岡県本部 国連フォーラム九州支部
福岡市総合図書館(九州国連寄託図書館)

後援:福岡県教育委員会・国連ハビタット福岡本部



参加者:高校生25名 大学生(国連フォーラム九州支部) 14名

内容:

- ①講演「高校生のライフデザインとSDGs」
講師:久木田純氏(関西学院大学教授, 元国連職員)
- ②参加型ワークショップ 「私たちの未来をデザインしよう」
SDGsと絡めながら身近な課題の解決策を設計するディスカッション
- ③Q&A

毎年秋に開催している高校生対象のイベント、前はオンラインでの開催でしたが、今回はオンラインとオフラインを参加者が選択できるスタイルとし、実際に福岡市総合図書館会議室に集っての参加が20名、オンライン参加が5名となり、熱気が戻ってきた会場の雰囲気スタッフ同喜びの言葉を口にしながらの開催となりました。

国連の活動に興味を持ち、将来国際社会への貢献を目指して勉強会等を企画している国連フォーラム九州支部の学生14名が当館会議室に集合し、指揮を執ってくれました。

第2部のワークショップでは、5つのグループに分かれ、ジェンダーや食品ロス問題など各グループで決められたテーマに沿って討論を行い、最後に発表して共有するという形式で行いました。各班に付いた大学生が、高校生たちを優しくサポートして活発な意見が交わされていました。高校生にとって大学生は憧れの、だけど年の近い頼もしい先輩。イベント全体を通して、大人との対応とはまた違う、打ち解けた様子が見られました。

「地球の未来＝私たちの未来」と捉え、今、自分たちにできることは何なのか、より良い世界にするためのひとりひとりの熱い思いが伝わってくるイベントとなりました。

これまでの7年の開催で約320名の高校生、大学生が集った当イベント！熱意をもった若者たちが、自分と世界の将来を真剣に考え、自信を持って夢をかなえていききっかけになればと切に願います。



久木田氏が講演会の中で紹介された資料



『Sustainable Development Report 2021 (SDGs報告書 2021)』

検索 Sustainable Development Report 2021
(<https://www.sdginde.org/>)

全文閲覧できます(英語)

国別のSDGs達成度ランキングや、目標ごとの達成度など、SDGsの進捗状況がわかる資料です。新型コロナウイルスの影響は深刻で、より良い復興を目指し、ギアをあげて取り組んでいかねばならない状況を再認識させられます。

イベント関連情報、ウラへ続きます！

今回のイベントでは、優しい笑顔で高校生への
気遣いも見せつつ、やるべきことを頼もしくこな
していくリーダーシップがとても印象的でした！

未来を創る
若者ファイル
No.7

世界目線で頑張っている若者を
紹介していくコーナーです！



レイク 沙羅さん

Q 簡単に自己紹介をお願いします

— 九州大学共創学部1年、現在の地球環境をめぐる状況に強い問題意識を持っています。高校の時に様々な講演会やイベント、国際交流やボランティアなどに参加するうち自分と世界とのつながりが見えてくるのが楽しくなり、もっと知識を深めたいと思い大学で勉強しています。「自分にできることは着実に」、できることから行動に移していくタイプです。

Q 好きな言葉はありますか？

— 「吾唯足知(われ唯だ足をを知る)」。これは京都の龍安寺の蹲踞(つくばい)に書かれている文字です。自分が足る(≡満足)の状態であることを知る大切さや必要性を伝えているように思います。ちょっと欲が出そうな時、人間関係に不満がある時など、自分が不幸な状況の中にいるかのようにふと感じる時があります。しかし、周りを見渡せば応援してくれる家族、支えてくれる友達、学ぶことができる場、とても恵まれた環境で生活しているありがたさを実感します。(持って)無いものを追いかけるのではなく有るもので満足する。その心の豊かさを気づかせてくれる言葉です。SDGsの掲げる持続可能な社会の実現、そのためにも欠かせない考え方なのではないでしょうか。

Q 将来の夢は？

— 直近では、一番危機感を抱いている地球環境問題の解決への貢献です。欲を言えば、私が地球環境の解決に携わらなくていくらい地球環境が改善することを夢見ていますが。(たとえ地球環境が良くなっても)世界には様々な課題が残っているのでそれらを少しずつ解決していきたいです。自分の生まれてきた意味を見つけてから死ぬことができれば本望です。

Q 思い出の本はありますか？

— 『好奇心を"天職"に変える空想教室』(植松 努/著 サンクチュアリ出版)です。この本の中の「思うは招く」「期待しない」という考え方に救われることが多く、ポジティブで前向きな気持ちになれば、紹介されている多くの考え方が今の自分の大切な一部であると感じます。中学の頃に参加した植松さんの講演会は、私が初めて著者の話を目の前で聴く経験だったという意味でも思い出の1冊です。

Q 自己アピールをどうぞ！

— まだまだ知識も見識も浅い身ですが、大学在学中に多くを学び、多角的な視点で物事を捉えられるように勉学に励みます。世界で起こっていることに無関心にならず、問題を先送りにしない・人任せにしないよう行動していきますので、この紙面をご覧の皆様、どうかこれからの若者たちの応援をよろしくお願いいたします。

ご存知ですか？ 国際デー



1月27日

ホロコースト犠牲者を
想起する国際デー
International Day of
Commemoration in memory of
the victims of the Holocaust

国連は、2005年11月の国連総会において、ユダヤ人強制収容所のアウシュビッツが解放された日である1月27日を「ホロコースト犠牲者を想起する国際デー」と宣言する決議(A/RES/60/7)を採択しました。ユダヤ人、そして無数のマイノリティーの人々が殺害されたホロコーストを認識し、憎悪、人種差別、偏見がもつ危険性を人々に警告することを目的としています。

歴史から多くを学び、全世界で平和と正義を構築することで、ホロコーストの犠牲者を追悼する日です。

編集後記



今回はオンラインのみで行われた高校生のイベントですが、今回は感染対策を万全に行った上で、実際に集まることができ、若者の皆さんのアツい思いを肌で感じる事ができました。スタッフとして頑張ってくれ、本紙に寄稿してくれたレイク沙羅さんの言葉にもあったように、地球の未来を創っていく若いエネルギーに期待し、応援していきたいと思えます！！

詳細をお知りになりたい方は、ぜひ2階国際・
国連カウンターにお立ち寄りください！



九州国連寄託図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階
TEL 092 (852) 0628 URL <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp>

開館時間：10:00～20:00

10:00～19:00 (日・祭日)

* 相談業務は 19:00(日・祭日 18:00)まで

休 み：毎週月曜・毎月月末

(休日のときはその翌平日)

年末年始・図書特別整理期間